



現代の部落差別

～子どもたちへの取材を通して見えてきたこと～



林 由紀子 さん

毎日新聞大阪社会部記者

参加費
無料

京都市立弥栄（やさか）中学校には、教師と地域住民が築いた独自の人権教育がありました。同和地区（被差別部落）や児童養護施設など、複雑な社会背景や家庭環境の下で生きる生徒たち。彼らの言葉に、そっと耳を傾けてみませんか。

2019年
6月15日(土)
午後2時～午後4時

会場 ソレイユプラザなごや研修室

定員 60名（定員を超える場合は抽選）

対象 市内在住・在勤・在学の方

事前申込制

（申込方法は裏面をご覧ください）

※申し込み期限 5月21日（火）まで

講師プロフィール

愛知県生まれ。名古屋市立名東高校卒業。大学卒業後、2002年に毎日新聞社入社。2018年から現職。京都支局、奈良支局、福岡報道部などで勤務し、大阪社会部では、主に大阪府・市政を担当。

2009年秋から1年半にわたり、京都市立弥栄中学校の人権教育を密着取材し、部落差別や家族と向き合う子どもたちの姿を毎日新聞のルポ「弥栄のきずな」で紹介。2013年には、一連の記事を単行本「弥栄のきずな」（毎日新聞社）として出版した。